

# 10～12月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R2～R6）の死亡事故データから見る ～

10～12月の死者数は、四半期で比較すると年間で最多で、特に10月の死者数は月別で最多、次いで12月が多い。10月以降は夜間の事故が半数以上と多くなり、特に10・11月は日没後1時間の薄暮時間帯での発生が多い。

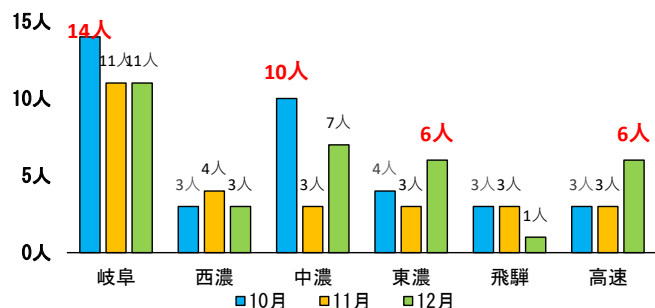
事故形態では、歩行者の道路横断中の事故が多いほか、車両単独事故の発生も多い。また、最高速度違反、横断歩行者妨害による事故が年間で最多である。

《10月》死者37人 夜間の事故が年間で最多。道路横断中の歩行者被害が年間で最多、高齢歩行者の被害が多い。また、最高速度による事故が最多。

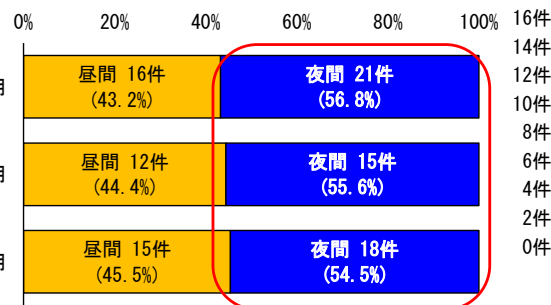
《11月》死者27人 16時～20時に事故が集中し、市町村道での事故、単路での単独事故が多い。また、歩行者妨害等による事故が年間で最多。

《12月》死者34人 16時～20時に事故が集中し、高速道路や国道、市町村道での事故が多い。また、最高速度や歩行者妨害等による事故が年間で最多。

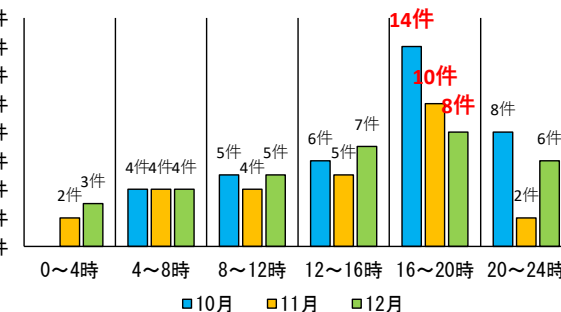
## 10月の交通事故死者が年間で最多！



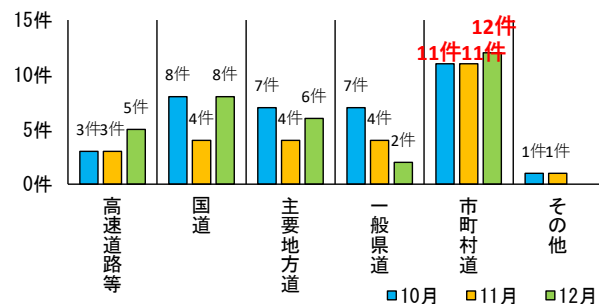
## 夜間の事故に注意！



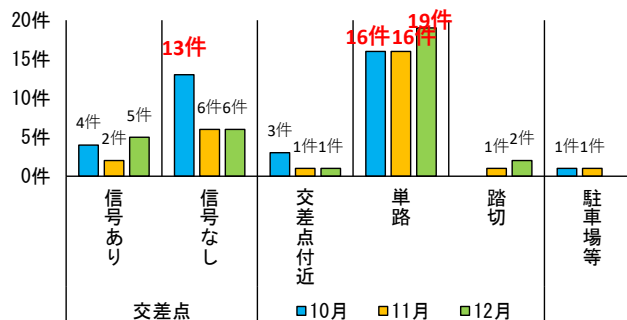
## 16時～20時に事故が多い！



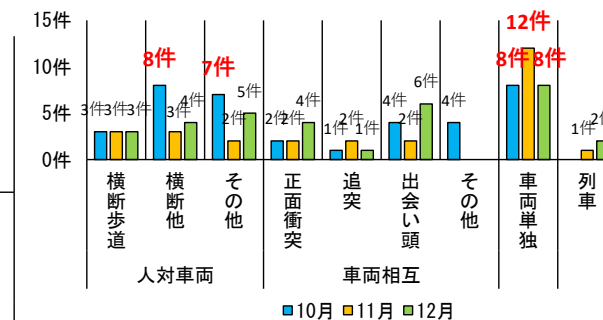
## 市町村道での事故が多い！



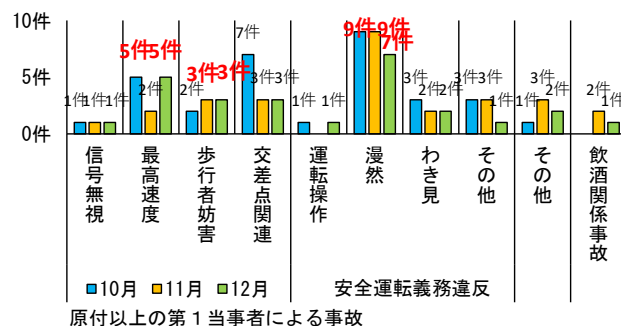
## 単路での事故が多い！



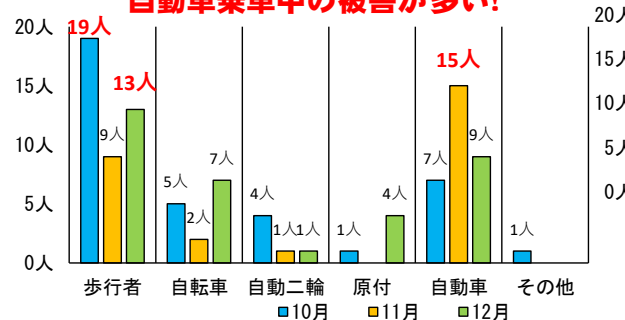
## 人対車両、車両単独事故が多い！



## 漫然運転による事故が多い！



## 10月・12月は歩行者、11月は自動車乗車中の被害が多い！



## 75歳以上の高齢者の被害が最多！

